

3 道路交通

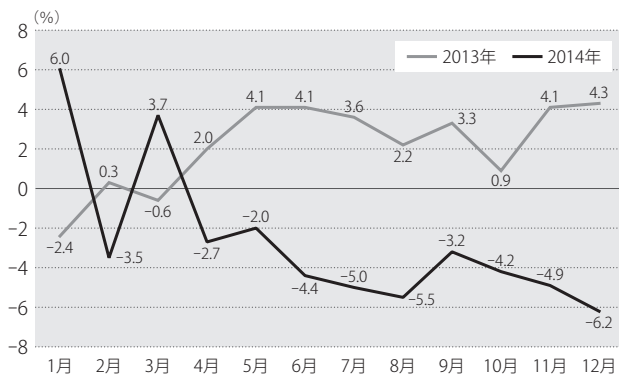
高速道路料金が改定
中央環状線、常磐自動車道が全線開通
SA、PAは「地域性」を重視
高速道路見学ツアーが人気

(1) 高速道路の利用状況

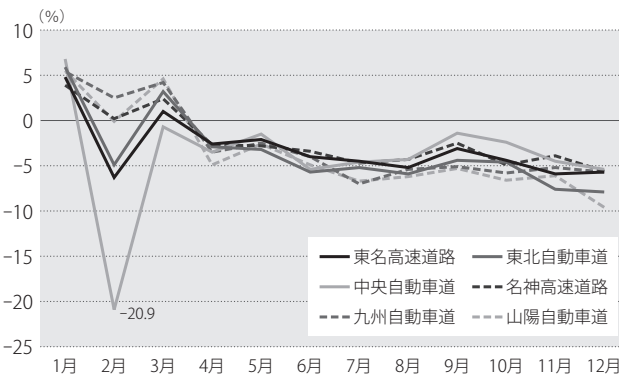
14年の高速道路通行台数は、日平均で約492万台、対前年2.7%減であった(図Ⅲ-2-3-1)。14年4月の料金割引の再編などの影響により、4月以降は全ての月で前年比を下回った。

主要高速道路の月別日平均通行台数の前年比(図Ⅲ-2-3-2)を見ると、中央自動車道で14年2月が大きく落ち込んだが、「平成26年豪雪」による全線通行止めなどの影響と考えられる。

図Ⅲ-2-3-1 高速道路通行台数(月別日平均)の前年比



図Ⅲ-2-3-2 主要高速道路の通行台数(月別日平均)の前年比



資料：(公財) 高速道路調査会「高速道路統計月報」をもとに(公財) 日本交通公社推計

(2) 高速道路料金の改定

14年4月から高速道路料金が改定され、料金水準の変更、利便増進計画の終了に伴う料金割引の再編、消費税率の引き上げに伴う料金変更が行われた。

普通区間では、割高であった区間(関越トンネルなど6区間)の割引が恒久化(他区間と同額の24.6円/km)され、海峡部など特別区間では、東京湾アクアラインが普通車108.1円/kmに引き下げられた。また、利便増進計画の終了に伴い、早朝夜間割引、平日昼間割引、休日特別割引が廃止、その他の割引も縮小された(深夜割引が3~5割引き⇒3割引き、休日割引が

都市部昼間3割引き・地方5割引き⇒地方昼間3割引き、通勤割引が平日朝・夕の5割引き⇒月5回以上利用者のみ3~5割引きなど)。

(3) 高速道路・高規格道路の開通状況

●開通状況の概要

15年4月1日時点の高規格幹線道路の開通状況は、供用距離が11,050kmであり、1987年の高規格幹線道路網計画に示された整備目標約14,000kmに対する進捗率は、約78.9%となった。内訳は、高速自動車国道が9,495km(並行する一般国道の自動車専用道路を含む、整備目標約11,520kmに対する進捗率は約82.4%)、一般国道の自動車専用道路が1,555km(整備目標約2,480kmに対する進捗率は約62.7%)である。

14年4月~15年6月までに開通した高規格幹線道路(高速自動車国道・一般国道自動車専用道路)は表Ⅲ-2-3-1の通りである。

●中央環状線が全線開通

首都高速道路中央環状線の大井JCT~大橋JCT間の9.4kmが開通し、首都圏3環状道路で最初の全線開通となった。本区間の品川線山手トンネルは高速道路で世界一長いトンネルであることも注目を集め、開通記念イベントなども行われた。

全線開通により、首都圏各所への所要時間の短縮が見込めることから、空港発着のリムジンバスを運行する各社ではダイヤ改正が行われ、羽田空港~新宿駅間を最短で30分以内でつなぐ路線が設定されるなど、公共交通アクセスにも影響を与えた。

また、東京都と首都高速道路株式会社は、首都高速道路全体の渋滞が約4割減少(中央環状線内側では約5割減少)、一般道の混雑緩和などの効果があったことを発表した。

●常磐自動車道が全線開通

常磐自動車道の常磐富岡IC~浪江IC間の14.3kmが開通し、全線開通となった。これにより、首都圏から仙台圏へ移動する場合、東北自動車道経由(約330km)と常磐自動車道経由(約320km)がほぼ等距離となり、今後は、事故・災害時の代替ルートとして機能することが想定されている。

また、09年以降、常磐自動車道の沿線地域では、130件以上の工場立地が行われていることから、沿線地域からは、全線開通によるさらなる立地促進が期待されている。

(4) 高速道路の便益施設の状況

14年4月~15年6月までに新設・リニューアルされたSA、PAは表Ⅲ-2-3-2の通りである。高速道路各社では、SA、PAのブランド化とともに、地域性をより前面に打ち出す取り組みが進められた。

東日本高速道路株式会社(以下、NEXCO東日本)の磐梯山SAでは、「会津賑わい城下町」をコンセプトとしたリニューアルが行われた他、「地域産品応援フェア!」を通じた「地域のショーウィンドー化」に取り組んだ。

中日本高速道路株式会社(以下、NEXCO中日本)では、

「全国ご当地グルメエリア」をコンセプトとして厚木PAが、「地域連携型エリア」をコンセプトとして三方五湖PAが、それぞれ新たに開設された。

西日本高速道路株式会社（以下、NEXCO西日本）では、地域の特色などを活かしたサービスを提供するエリアとして、美東SAと上板SAの4店舗でリニューアルが行われた。また、店舗棟内に高速道路利用者と周辺地域を結び付ける場として「多目的スペース」を設置するなど、周辺地域との連携強化が図られた。

(5) 一般道路の便益施設の状況

「道の駅」では、14年度に新たに26駅が登録され、総数1,040駅となった。近年、道の駅は、雇用創出や地域経済の活性化の拠点として、ますます注目を集めているが、15年1月、国土交通省は、地方創生の核として、全国モデル「道の駅」6カ所と重点「道の駅」35カ所を選定し、重点的に支援することを発表した。

15年4月には、全国「道の駅」連絡会が、地域づくりを学ぶ学生の就労体験の場としての道の駅の活用について、42大学との間で協定を締結した。インターンシップを通じて、道の駅への就労体験を行うもので、地域活性化の現場の将来の人材育成や、若者の視点・技術（SNSなどのIT技術）による情報発信強化などにつながる事が期待されている。

(6) 関連旅行商品、沿線開発の動向

●関連する旅行商品など

工場や職場などの現場見学ツアーなどが人気を集めていることを背景に、高速道路各社においても、関連旅行商品造成などの取り組みが進められた。

NEXCO東日本では、JTB国内旅行企画との協力による初の旅行商品として、14年7月に8月22日限定のツアー「夏休み！学べる探検“アクアラインとSHIRASE”」を造成・販売した。緊急避難通路見学や、高速道路で働く車の乗車体験、ウェザーニューズ社の協力による、元南極観測船「SHIRASE」の見学などを行った。

また、NEXCO西日本では、15年1月に高速道路現場見学受付Webサイト「なるほど！高速道路発見」を開設した。募集した見学会はいずれも定員を上回り、定員の10倍を超えるツアーも出るなど、大きな人気を集めている。

●高速道路の沿線開発

NEXCO中日本では、高速道路会社として初めて、高速道路外に複合商業施設「テラスゲート土岐」をオープンした。沿線の地域振興を目的に、土岐市と連携して整備されたもので、地域連携施設（セレクトショップ、チャレンジショップ用の区画など）、温浴施設、ショッピングセンターで構成されている。高速道路会社の新たな取り組みとして注目される。

（吉谷地裕）

表Ⅲ-2-3-1 14年4月～15年6月までに開通した高規格幹線道路（高速自動車国道・一般国道自動車専用道路）

地方	路線名	区間	延長	開通日	料金設定
北海道地方	道東自動車道	浦幌IC～白糠IC	26.0km	15.3.29	無料
	中札内大樹道路	更別IC～忠類大樹IC	16.7km	15.3.15	無料
東北地方	五所川原西バイパス	五所川原北IC～つがる柏IC	3.8km	14.11.3	無料
	常磐自動車道	常磐富岡IC～浪江IC	14.3km	15.3.1	有料
	常磐自動車道	相馬IC～山元IC	23.3km	14.12.6	有料
	尾花沢新庄道路	尾花沢IC～野黒沢IC	4.0km	14.11.16	無料
	常磐自動車道	浪江IC～南相馬IC	18.4km	14.12.6	有料
関東地方	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）	稲敷IC～神崎IC	10.6km	14.4.12	有料
	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）	寒川北IC～海老名JCT	4.3km	15.3.8	有料
	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）	久喜白岡JCT～境古河IC	19.6km	15.3.29	有料
	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）	神崎IC～大栄JCT	9.7km	15.6.7	有料
	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）	相模原愛川IC～高尾山IC	14.8km	14.6.28	有料
	都市高速道路中央環状品川線	大井JCT～大橋JCT	9.4km	15.3.7	有料
中部地方	舞鶴若狭自動車道	小浜IC～敦賀JCT	39km	14.7.20	無料
関西地方	大和・御所道路	郡山下ツ道JCT～郡山南IC	1.6km	15.3.22	無料
	大和・御所道路	御所IC～御所南IC	2.5km	15.3.21	無料
	大和・御所道路	天理王寺線～桜井田原本王寺線	3.5km	15.3.28	無料

中国地方	浜田・三隅道路	原井IC～西村IC	8.1km	15.3.14	無料
	七尾氷見道路	七尾城山IC～七尾IC	3.2km	15.2.28	無料
	仁摩・温泉津道路	仁摩・石見銀山IC～湯里IC	5.9km	15.3.14	無料
	尾道自動車道	世羅IC～吉舎IC	20.4km	15.3.22	無料
	七尾氷見道路	灘浦IC～七尾大泊IC	7.1km	15.2.28	無料
	東広島・呉自動車道	馬木IC～黒瀬IC	8.8km	15.3.15	無料
	永平寺大野道路	福井北JCT・IC～松岡IC	2.2km	15.3.1	無料
四国地方	高知南国道路	高知南IC～なんこく南IC	4.7km	15.3.22	無料
	宇和島道路	津島高田IC～津島岩松IC	3.5km	15.3.21	無料
	徳島自動車道	鳴門JCT～徳島IC	10.9km	15.3.14	有料
九州地方	出水阿久根道路	阿久根北IC～阿久根IC	4.2km	15.3.29	無料
	北方延岡道路	蔵田交差点～北方IC	4.6km	15.4.29	無料
	東九州自動車道	行橋IC～みやこ豊津IC	7.4km	14.12.13	有料
	東九州自動車道	佐伯IC～蒲江IC	20.4km	15.3.21	無料
	川内隈之城道路	薩摩川内高江IC～薩摩川内都IC	6.7km	15.3.7	無料
	伊万里松浦道路	山代久原IC～今福IC	5.5km	15.3.14	無料
	東九州自動車道	鹿屋串良JCT～曾於弥五郎IC	17.7km	14.12.21	無料
	豊見城東道路	豊見城・名嘉地IC～豊見城IC	2.7km	15.3.3	無料
	東九州自動車道	豊前IC～宇佐IC	21.1km	15.3.1	有料
	唐津伊万里道路	北波多IC～南波多谷口IC	4.8km	15.2.1	無料

資料：高速道路株式会社各社のホームページなどをもとに（公財）日本交通公社作成

表Ⅲ-2-3-2 14年4月～15年6月までに新設・リニューアルされたSA、PA

事業者名	施設名称	年月日	内容・特徴
NEXCO東日本	関越自動車道 三芳PA（上り線）	2014.7.11	カー用品販売のオートボックスが高速道路初出店として三芳のショッピングゾーンに加わる。通常のオートボックス店舗とは異なり、取付・交換などの作業は行わず、商品販売のみを行う。
	東関東自動車道 大栄PA（上下線）	2014.8.8	セブンイレブンがNEXCO東日本に初出店。上下線に同時オープン。セブンカフェに加えて、イートインや高速道路ならではの地域のお土産なども取りそろえる。
	道央自動車道 岩見沢SA（上下線）	2014.11.29	コンパクトな施設のなかにショッピングコーナーとスナックコーナーを配置し、リニューアルオープン。
	磐越自動車道 磐梯山SA（下り線）	2014.11.22	ドラマチックエリア磐梯山として「会津賑わい城下町」をコンセプトにグランドオープン。ドラマチックエリアとは、地域の中核となるエリアにおいて、地域性の充実にこだわり、その地域ならではの旅のドラマを感じていただけるように演出したSA。
	常磐自動車道 南相馬鹿島SA（上下線）	2015.2.21	新規開業。ガソリンスタンド（24時間営業）、トイレおよび自動販売機。
	常磐自動車道 ならばPA（上下線）	2015.3.1	新規開業。トイレおよび自動販売機。
	圏央道 江戸崎PA（内回り、外回り）	2014.7.11	新規開業。トイレおよび自動販売機。
	北陸自動車道 栄PA（上下線）	2014.11.19 2014.12.17	リニューアルオープン（下り線：11月19日、上り線：12月17日）。スナックコーナーは、客席を増席し地域色に富んだラインナップを提供。ショッピングコーナーは、売り場を拡張し「地域商材」を豊富に取りそろえた。

NEXCO中日本	東海環状自動車道 土岐南多治見IC	2015.4.24	複合商業施設「テラスゲート土岐」がグランドオープン。温浴施設「よりみち温泉」は4月1日に先行オープン。
	圏央道 厚木PA（内回り、外回り）	2014.6.28	「全国ご当地グルメエリア」としてオープン。地元で愛されている名物グルメに加え、「ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリ」出展団体が監修する全国各地のご当地グルメを食べられる。
	舞鶴若狭道 三方五湖PA（上下線）	2014.7.20	地域連携型エリアとしてオープン。ファミリーマートにより地元福井県の特産品を販売する他、若狭町をはじめ沿線自治体と連携した福井県の観光情報（リーフレット）も入手できる。高速道路の上下線だけでなく、一般道からも利用できる。
	東名高速道路 海老名SA（下り線）	2014.7.14	高速道路初となる「ポテトチップサンド」などのSA限定商品をそろえた「カルビーキッチン 海老名SA店」がオープン。
	新東名高速道路 藤枝PA（下り線）	2014.7.16	高速道路はもとより静岡県内でも初出店となる「ラーメン魅力屋」と、24時間営業の「ファミリーマート」がリニューアルオープン。
NEXCO西日本	名神高速道路 大津SA（下り線）	2015.1.23	リニューアル工事により屋上展望デッキを備えたレストハウス「バヴァリエびわ湖大津」や、駐車場では小型車マスおよびバス優先マスを大幅に増やすとともに、横断歩道橋を設置。
	中国自動車道 赤松PA（上り線）	2014.12.24	「モテナス」店舗としてリニューアルオープン。野菜マルシェ赤松では「カラダが喜ぶハイウェイマルシェ」をコンセプトに兵庫県内において生産された生鮮野菜や果物などを取りそろえる。地域連携の取り組みとして、店舗内に「多目的スペース」を設置し、自治体を中心とした観光キャンペーンや物販イベントを実施。
	名神高速道路 菩提寺PA（上り線）	2014.12.24	「モテナス」店舗としてリニューアルオープン。リニューアルオープンする2店舗を加え23店舗となる。
	徳島自動車道 上板SA（上下線）	2014.12.19	店舗およびお手洗いをリニューアルし、地元徳島の食材を使用したメニューや魅力あふれる地域産品を多数取りそろえた。また上り線のレストランは、地元の名物である「たらいうどん」専門店に、下り線のレストランは、西日本のSAでは初めてとなる室内遊具や親子トイレなどを備える。
	九州自動車道 吉志PA（上り線）	2014.8.22	「モテナス」店舗としてリニューアルオープン。お土産コーナーを約2倍に拡張。お食事やお土産品コーナーでは、北九州市の郷土料理「じんだ煮」を使った新たなメニューなども提供。店内には地域情報の発信が可能な「NEXCO西日本情報カウンター」を設置。
	山陽自動車 沼田PA（上り線）	2014.4.22	NEXCO西日本の店舗ブランド「モテナス」としてリニューアルオープン。統一したブランドマーク・ブランドカラーを採用し、日常的な利用者向けにモテナスポイントサービスを実施。お得感のある食事や真心のごもった「おもてなし」を提供。
	名神高速道路 黒丸PA（下り線）	2014.4.20	17店舗目の「モテナス」としてリニューアルオープン。「モテナス」店舗共通で、明るく十分な通路空間を確保。また店舗内外に「お休み処」として、食事以外でもくつろげるスペースを設置している。
	中国自動車道 美東SA（上下線）	2014.4.23	地域の特色を活かしたサービスを提供するNEXCO西日本のブランド「アドヴァンストエリア」としてリニューアルオープン。カルスト台地「秋吉台」や鍾乳洞「秋芳洞」に代表される豊かな自然を表す「水と大地の調和」がコンセプト。「多目的スペース」を設置し、観光キャンペーンや物販イベントへの活用を目指す。
	山陽自動車道 淡河PA（上り線）	2014.7.18	「モテナス」店舗としてリニューアルオープン。シャワーステーションの営業時間を、24時間営業に拡大。地域連携の取り組みとして、店舗内に「多目的スペース」を設置し、自治体を中心とした観光キャンペーンや物販イベントを実施。
	山陽自動車道 道口PA（上り線）	2014.8.6	20店舗目の「モテナス」としてリニューアルオープン。

資料：高速道路株式会社各社のホームページなどをもとに（公財）日本交通公社作成